

PRESS INFORMATION

2012年10月30日
株式会社日本レースプロモーション

2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン

第7戦鈴鹿サーキット選手権概要

株式会社日本レースプロモーション（代表取締役社長 白井 裕、所在地：東京都千代田区）は、11月3日（土）～4日（日）の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催される「2012年全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第7戦鈴鹿サーキット」について選手権概要を発表する。

シリーズ最終戦の本大会は2レース制で行われ、予選は従来同様のノックアウト方式（*P4「公式ノックアウト予選」の項ご参照）で行われる。レース1のグリッドはQ1の結果で決定し、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（1周5,807m）を20周、トータル116.140kmで争われる。またレース2のグリッドはQ3までの結果で決定し、同レーシングコースを28周、トータル162.596kmで争われるとともに、タイヤ交換（4輪同時）のためのピットインが1回義務付けられている。またこの2レース制の場合には、選手権ポイントが1レース制の場合と異なり半分となるが（*P3「選手権ポイント」の項ご参照）、それぞれのレースの勝者にはボーナスポイントが与えられ、2つのレースでポールトゥウインを行った場合、最大18ポイントを獲得することができるため、逆転の可能性が広がることになる。

今シーズンも最終戦を迎え、年間チャンピオン・タイトルの行方に注目が集まる。第5戦終了時点の順位は、開幕戦で優勝を飾り今季のすべてのレースで入賞を果たし、確実にポイントを獲得している中嶋一貴（ペトロナス・チーム・トムス）が、トータル38ポイントを挙げランキングトップの位置にいる。2番手には第3戦ポールトゥーフイニッシュで初優勝を飾った塚越広大（ドコモ チーム ダンディライアン レーシング）-1ポイントの僅差で続き、3番手には第2、4戦を優勝で飾り今季2勝を挙げたディフェンディング・チャンピオンのアンドレ・ロツテラー（ペトロナス・チーム・トムス）が-5ポイントで続いている。4番手には第6戦ポールトゥーフイニッシュで初優勝を飾り好調の伊沢拓也（ドコモ チーム ダンディライアン レーシング）が-6ポイントで4番手につけている。また5番手には、第5戦で今季初勝利を飾ったJ. P. デ・オリベイラ（チーム インパル）が-7ポイントで続き、僅か7ポイント内に5人のドライバーがしのぎを削る。

また6番手以下の選手にも本大会の結果によっては大逆転の可能性が残っている。ロイック・デュバル（チーム キグナス スノコ）と大嶋和也（チーム ルマン）が-18ポイントで6番手、7番手で続いている。

さらに第6戦と本大会の2戦スポット参戦で話題を集めた佐藤琢磨（チーム 無限）も、第6戦では入賞にあと一步の9位、ノーポイントでレースを終了したが、本大会で雪辱を果たせるかが注目される。



第6戦終了時点でポイントリーダー#2中嶋一貴

2012年 全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン第7戦 鈴鹿サーキット エントリーリスト

(シャーシ: FN09、タイヤ: プリヂェストン)

No.	ドライバー	生年月日 出身	チーム 監督	エンジン
1	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス	TOYOTA RV8K
2	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	舘 信秀	
3	安田 裕信 Hironobu Yasuda	1983.11.11 日本 滋賀県	KONDO RACING コンドー レーシング 近藤 真彦	TOYOTA RV8K
7	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987.4.30 日本 群馬県	Team LeMans チーム ルマン 武藤 裕作	TOYOTA RV8K
8	ロイク・デュバル Loic Duval	1982.6.12 フランス	Team KYGNUS SUNOCO チーム キグナス スノコ 土屋 武士	TOYOTA RV8K
10	金石 年弘 Toshihiro Kaneishi	1978.12.19 日本 大阪府	HP REAL RACING エイチピー リアル レーシング 金石 勝智	HONDA HR12E
15	佐藤 琢磨 Takuma Sato	1977.1.28 日本 東京都	TEAM 無限 チーム 無限	HONDA HR12E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	手塚 長孝	
18	折目 遼 Ryo Orime	1982.6.26 日本 京都府	SGC by KCMG エスジーシー バイ ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RV8K
19	ジョアオ・パオ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	TEAM IMPUL チーム インパル	TOYOTA RV8K
20	松田 次生 Tsugio Matsuda	1979.6.18 日本 三重県	星野 一義	
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマ レーシング	HONDA HR12E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	中嶋 悟	
38	平手 晃平 Kohei Hirate	1986.3.24 日本 愛知県	Project μ/cerumo・INGING プロジェクト・ミュ/セルモ・インギング	TOYOTA RV8K
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県	立川 祐路	
40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都	DOCOMO TEAM DANDELIONRACING ドコモ チーム ダンデライオン レーシング	HONDA HR12E
41	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	村岡 潔	
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	1983.4.25 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports トチギ ル・ボッセ モータースポーツ 坪松 唯夫	TOYOTA RV8K

第6戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/15	5/13	5/27	7/15	8/5	9/23	11/4	11/4
					SUZUKA	MOTEGI	AUTOPOLIS	FUJI	MOTEGI	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	2	中嶋一貴	38		10	6	4	9	5	4		
2	41	塚越広大	37	-1	8	4	11	0	6	8		
3	1	アンドレ・ロッテラー	33	-5	4	11	0	10	8	0		
4	40	伊沢拓也	32	-6	4	5	8	0	4	11		
5	19	J.P.デ・オリベイラ	31	-7	6	8	0	3	11	3		
6	8	ロイック・デュバル	20	-18	0	0	6	5	3	6		
7	7	大嶋和也	20	-18	5	1	3	6	0	5		
8	20	松田次生	15	-23	1	3	5	4	2	0		
9	38	平手晃平	6	-32	0	0	2	2	1	1		
10	16	山本尚貴	4	-34	2	2	0	0	0	0		
11	10	金石年弘	2	-36	0	0	0	0	0	2		
12	39	国本雄資	2	-36	0	0	1	1	0	0		
	16	佐藤琢磨	0	-38	-	-	-	-	-	0		
	3	安田裕信	0	-38	0	0	0	0	0	0		
	31	中嶋大祐	0	-38	0	0	0	0	0	0		
	32	小暮卓史	0	-38	0	0	0	0	0	0		
	18	折目遼	0	-38	0	0	0	0	0	0		
	62	嵯峨宏紀	0	-38	0	0	0	0	0	0		
	11	中山友貴	0	-38	-	-	-	0	0	-		

※斜体は優勝、太字はP.P.

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/15	5/13	5/27	7/15	8/5	9/23	11/4	11/4
					SUZUKA	MOTEGI	AUTOPOLIS	FUJI	MOTEGI	SUGO	SUZUKA	SUZUKA
					Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	1,2	PETRONAS TEAM TOM'S	69		14	16	4	18	13	4		
2	40,41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	66	-3	11	9	18	0	10	18		
3	19,20	TEAM IMPUL	45	-24	7	11	5	7	12	3		
4	8	Team KYGNUS SUNOCO	20	-49	0	0	6	5	3	6		
5	7	Team LeMans	20	-49	5	1	3	6	0	5		
6	38,39	Project μ /cerumo・INGING	8	-61	0	0	3	3	1	1		
7	16	TEAM 無限	4	-65	2	2	0	0	0	0		
8	10	HP REAL RACING	2	-67	0	0	0	0	0	2		
	31,32	NAKAJIMA RACING	0	-69	0	0	0	0	0	0		
	3	KONDO RACING	0	-69	0	0	0	0	0	0		
	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	0	-69	0	0	0	0	0	0		
	18	SGC by KCMG	0	-69	0	0	0	0	0	0		

※斜体は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

全戦が有効

選手権ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※2レース制に限り第1レース、第2レースの勝者に通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

2012年 開催スケジュール

日程	ラウンド	開催サーキット
4/ 14~15	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
5/ 12~13	第2戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
5/ 26~27	第3戦 オートポリス	オートポリス
7/ 14~15	第4戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8/ 4~ 5	第5戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
9/ 22~23	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11/ 3~ 4	第7戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット

ご参考

1. フォーミュラ・ニッポン

全日本選手権フォーミュラ・ニッポンは、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が公認し、日本レースプロモーションのプロモートにより1996年にスタート。純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースで、全国5か所のサーキットを転戦。本年は全7戦+特別戦1戦を開催する。

2. シリーズ賞典

シリーズドライバーズチャンピオンには、日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯、観光庁長官杯が贈られる。またシリーズチャンピオン・チームには経済産業省より経済産業大臣杯が贈られる。

3. レース車両

シャシーは米国スィフト・エンジニアリング社製のFN09。エンジンはトヨタとホンダが供給する、排気量3,400cc、V型8気筒自然吸気エンジン、TOYOTA RV8KまたはHONDA HR12Eを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム

フォーミュラ・ニッポン独特の仕組みで、ステアリングにあるボタンを押すと、20秒間エンジン回転数の上限がアップする。このシステムは決勝レース中5回まで使用することが可能で、追い越しなどを容易にする。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。本大会ではポイントリーダーの中嶋一貴がリーダーズレッドのオーバーテイクランプを装着する。

5. 公式予選（ノックアウト方式）

決勝レースのスタート位置を決定するためにQ1、2、3の、計3回の予選が行われる。本大会のように18台エントリーの場合にはQ1（20分間）で14位から18位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2（7分間）を行い9～13位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3（7分間）を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければノックアウト（脱落）されることから、ノックアウト方式（勝ち抜き戦）と呼ばれる。

開催概要

- 大会名称：2012年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第7戦 鈴鹿サーキット
- 同日開催：2012年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) 第10戦、第11戦、第12戦
MUGEN POWER Cup CIVIC One Make Race 第5戦
- 開催日：2012年11月3日(土)～4日(日)
予選スタート 11/3(土) 13:30～
レース1決勝スタート11/4(日) 10:20～(20周)
レース2決勝スタート11/4(日) 14:30～(28周)
- 開催地：鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)
レース1決勝レース距離：5.807km/1周x20周=116.140km
レース2決勝レース距離：5.807km/1周x28周=162.596km
- 主催：名古屋レーシングクラブ(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援：文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
社団法人鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

【TV放映予定】

- ・「BSフジ」：11月11日(日) 18時00分～18時55分
再放送11/17(土) 13時00分～13時55分
 - ・「J SPORTS」：ライブ中継
- *放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、
FN公式ホームページ (<http://www.f-nippon.co.jp>) でご確認ください。

【チケット情報】

- 観戦券(2日間有効) *11月2日(金)も入場可
大人 ¥3,900(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)
中・高校生 ¥1,600(入場のみ)
- *観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ (<http://www.suzukacircuit.jp/>) をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。
またレースのご視察も承りますので、お気軽にご連絡ください。
担当：遠藤清人 (MP:090-3401-8112) (e-mail: media@f-nippon.co.jp)
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.f-nippon.co.jp/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135